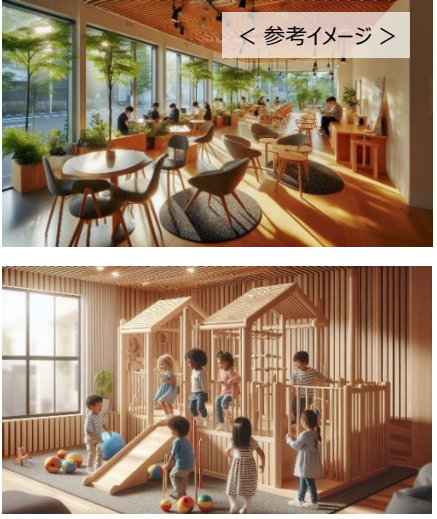


事業概要【（仮称）藍住町世代間交流施設を中核とした持続可能なまちづくり推進事業】

申請者	徳島県藍住町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,990,000千円 (80,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・老人福祉センター「藍翠苑」及び勤労女性センターを複合化するとともに、新たな施設機能を付加した（仮称）藍住町世代間交流施設を整備する。この拠点を中核として地域コミュニティの再生と活性化を図り、町や地域に関わる住民が主体的にまちづくりに参画し、全世代が活躍できる魅力的なまちづくりを実現する。これにより、町外流出の抑制や移住者の増加を図り、人口減少の抑制に寄与することを目的とする。						
事業概要・ 主な経費	・オープンスペースやキッズスペースを設置し、多くの人が集う心地よい（自分の時間が楽しめる）空間を創出 ・オープンな多目的交流室などでコミュニティ活動できる環境を整え、施設に訪れた人の興味・関心を促す。 ・活動したい人をサポートできる体制を整え、自ら行動を始める人や団体を後押しする。 【拠点整備事業経費】 ○（仮称）藍住町世代間交流施設整備に係る設計 ・設計業務 80,000千円 ※経費内訳はR7年度事業費					< 配置計画案 >  「図説：国土交通省施設整備計画図例を加工して作成」	< 参考イメージ > 
地域の多様な 主体の参画	産官学金労言及び住民団体から情報やアイデアを提供いただき、利用者目線での施設等の利活用やイベント開催等、事業内容への反映に取り組む。					KPI	①年間来館者数 （+42,000人） ②（仮称）藍住町世代間交流施設で定期的に活動する地域コミュニティの数 （+58団体） ③人口の増減数 （▲288人）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【社会・経済状況の変化に適応する「とくしま農林水産業」生産力強化戦略】

申請者	徳島県ほか 5 自治体※					初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,028,757千円 (203,810千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・広域的な産地間連携等による園芸産地の再編・強化や、先端技術を活用した超省力化・高品質生産の実装等による生産性の向上を図る。 ・気候変動に適応した新品種・新技術の開発・普及に取り組む。 ・状況の変化に対応した新たな販売戦略を構築する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 農林水産物の生産性向上の促進、気候変動等環境変化への適応策の推進、状況の変化に対応した新たな販売戦略の構築などに取り組み、本県農林水産業の生産力強化を図る。 【ソフト事業経費】 スマート技術の導入推進や、広域的な産地間連携に向けた栽培技術の統一等の体制づくりに取り組む。 ・スマート技術の導入や産地間連携の推進（委託料等）10,093千円 - 気候変動に適応した新品種・新技術の開発・普及、新たな品目の栽培技術等の開発に取り組む。 ・新品目の栽培技術開発（需用費等）20,915千円 - 多様な販売チャネルを活用した農林水産物の販売拡大に取り組む。 ・発信力の高い販売チャネルを活用したブランディング（委託料等）33,350千円					 阿波ふうど試食会商談  食の博覧会	
地域の多様な 主体の参画	県内の農林水産関係団体や高等教育機関等と連携して、気候変動への適応策に関する技術の実証や共同研究、生産者とのコーディネート、6次化商品の開発・販路拡大等に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額（+25億円） ②農林水産物の新品種・新技術の開発・導入数（+34件） ③とくしまブランド推進機構の関与した販売金額（+25億円） ④農林水産物等輸出金額（+9億円）

※徳島県、徳島市、阿波市、北島町、藍住町、板野町の広域連携事業

申請者	徳島市ほか14自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	153,920千円（26,560千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・15市町村から成る徳島東部圏域が、官民が一体となり戦略的に取り組む仕組みを構築する ・観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図る ・観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させ、持続可能な地域にする		
事業概要・ 主な経費	○地域固有の資源を観光資源として磨き上げ「ニューツーリズム推進事業」としてコンテンツ造成等を推進する ・SNSプロモーション・HP情報発信・観光素材集作成費（委託費・広告宣伝費）4,800千円 ・AT（アドベンチャートラベル）・ST（サステナブルファムツアー）の磨き上げ費（委託費）700千円 ・ニューツーリズム推進に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費・広告宣伝費・委託費）500千円 ○住民が地域の魅力を再認識する機会の創出や、訪問者と住民との積極的な交流を促進するとともに、住民を対象とした将来の観光を担う人材を育成していくことで、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図る ・観光満足度・住民満足度調査費（委託費）1,260千円 ・マイクロツーリズム推進費用（委託費）700千円 ・観光人材育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・観光地域まちづくりWG運営費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・シビックプライド醸成に係る事務費（会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・広告宣伝費・委託費）200千円 ○観光アプリのデータを活用した地域一体による戦略的・効果的なデジタルマーケティングやCRMを実施することで面的DXを推進するとともに、観光デジタル人材の育成を推進する ・周遊促進に向けた企画商品普及促進費（委託費）800千円 ・観光デジタル人材の育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・面的DX推進に係る事務費（会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・委託費・広告宣伝費・委託費）100千円 ○大阪・関西万博会場で徳島に興味を持った人々に徳島を来訪してもらい、さらに徳島東部をハブとして広域的な周遊・長期滞在に繋げる ・周遊コンテンツの磨き上げ・情報発信費（委託費・広告宣伝費）500千円 ・関西方面での集中プロモーション費用（広告宣伝費・委託費）1,000千円 等		
KPI	①徳島東部圏域の延べ宿泊者数（+120.8万人） ②徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額（+26千円） ③徳島東部圏域の来訪者満足度（+4.5%） ④徳島東部圏域の住民満足度（+5.0%）		

※経費内訳はR7年度事業費



関連
URL

令和7年9月公表予定